

令和7年度 指斐郡三師会と養護教諭との交流会

日時 令和8年2月18日（水） 13:30～15:05

場所 大野町総合市民センター 2階 シアター室

担当校長先生、郡養教部会スタッフ（部長・副部長・研推メンバー）は12:45、その他養護教諭の先生は13:10までにお越しください。

【日程及び内容】

（司会：郡学校保健部会担当校長）

（1）13:30～13:35 挨拶 郡学校保健会会長 野田 宜輝 先生

（2）13:35～13:40 講師及び交流会の指導の先生方の紹介（郡養護教諭部会顧問校長）

（3）13:40～14:30 ご講演

講師（西濃教育事務所 教育支援課 課長補佐 山田 雄一朗 先生

演題「学校保健安全委員会の運営の仕方や三師会・関係機関の連携について」

（ご講演で触れていただく内容）

- 学校保健安全委員会の内容や進め方について（今注目のテーマとか、話題のテーマの取り上げ方や講演による指導の在り方等）
- 学校保健安全委員会は貴重な意見をいただく機会ではあるが、会の内容や提案資料が単調化してしまっているので、内容の工夫・改善できる方法等があるのか。
- 学校における健康課題の中で「この項目（生活習慣や心の健康）は共有した方がいい」というものは何か。また、指導される側から見て、欲しいと思われるデータやグラフはどんなものがあるのか。
- 小規模校では、養護教諭が学校保健安全委員会に関わる業務を担う場合があるが、保健主事と養護教諭が協働できる体制を整えるためには、どのような役割分担や進め方をすればよいのか。
- 通達や答申で示されている学校保健安全委員会の定義が十分理解できておらず、これまで経験をもとに内容や回数を決めて開催してきた。岐阜県では、どのような会（参加者、内容、時期や回数など）の開催を推進しているのか。

（4）14:30～15:00 交流及び質疑応答

① いびがわ診療所 西脇 健太郎 先生

- 高度肥満児に対して具体的にどのようにアプローチをすればよいのか。

- 学校での生活習慣改善の指導について学校でできる効果的な保健指導の方法として何があるか

- 片頭痛の症状を少しでも和らげたり、予防に役立つ方法として何があるか。

② 若原整形外科 若原 和彦 先生

- 体育のマット運動で後に首の痛みを訴える生徒が多くいるが、そのような場合の対応方法や病院受診する判断基準

③ 長瀬診療所 河瀬 晴彦 先生

- 寒冷蕁麻疹が頻繁に出る子への応急処置と受診が必要になるタイミングや保護者から体質改善をしたいと相談された時の方

④ まつばら眼科 松原 正幸 先生 【文書回答】

- 目の打撲について、受診の目安と確認するとよいこと

●

⑤ 羽田歯科医院 羽田 和彦 先生 （郡歯科医師会会長 保坂 松治先生）

- 専門的な観点からの歯磨き粉が禁止されている理由及び歯磨き粉を使用している学校での具体的理由

- 児童の委員会活動で健康のための取組を効果的な組織活動にするための方法

- ⑥ 摂斐郡薬剤師会会长 ピノキオ薬局（池田） 金森 豊 先生
- 熱中症指数が高い日の塩分チャージタブットの配付の目安及び郡や町内で配付基準を統一した方がよいかどうか
 - 学校環境衛生のための教室の空気の検査や、騒音検査などの効果的な検査方法・タイミング
 - 環境衛生 エアコンと扇風機・サーキュレーターの設置位置
 - 児童の委員会活動で健康のための取組を効果的な組織活動にするための方法

※文書回答いただいた内容は交流会ノートとしてまとめ、事前に養護教諭が事前に目を通して交流会に臨む。

※養教部会から質問のあった内容について交流の時間は30分間以内で、実施（1つの質問については、2分半から3分間前後で回答・指導）

（5）15：00～15：05 閉会の挨拶 郡学校保健会担当校長

※連絡（事務局より） 交流会アンケートへの回答等について

- 三師会の先生方に聞きたい質問について養護教諭部会より出された意見・質問をまとめたものを、事前に回答していただく三師会の先生方に送付し、文書回答してもらう。
- 文書回答は交流会ノートにまとめ、それをもとに交流会で医師会の先生、歯科医師会の先生、薬剤師会の先生にご回答・ご指導いただくとともに養護教諭は交流会ノートに事前に目を通した上で、当日は交流会ノートを持参し、メモをとりながら聞く。
- 15：00～15：05 閉会の挨拶 馬淵郡学校保健部会担当校長
※連絡（事務局より）
(※15：15～16：00 郡養護教諭部会) そのままシアター室で

R7 郡三師会と養護教諭との交流会 講演&三師会の先生方からのご指導

【養護教諭の先生方へ】

- 講師の先生の講演テーマや郡三師会の先生方のご回答を事前に読んで、内容をつかんで交流会に臨んでください。
- ご講演やご回答を聞いて大切なことをメモして、交流会で学んだことをこれからの実践や指導に生かしてください。（各自印刷して当日持参してください）

（1）講演

- 13：40～14：30 ご講演
講師（西濃教育事務所 教育支援課 課長補佐 山田 雄一朗 先生
演題「学校保健安全委員会の運営の仕方や三師会・関係機関の連携について」
(ご講演で触れていただく内容)
- 学校保健安全委員会の内容や進め方について（今注目のテーマとか、話題のテーマの取り上げ方や講演による指導の在り方等）
- 学校保健安全委員会は貴重な意見をいただく機会ではあるが、会の内容や提案資料が単調化しているので、内容の工夫・改善できる方法等があるのか。
- 学校における健康課題の中で「この項目（生活習慣や心の健康）は共有した方がいい」というものは何か。また、指導される側から見て、欲しいと思われるデータやグラフはどんなものがあるのか。
- 小規模校では、養護教諭が学校保健安全委員会に関わる業務を担う場合があるが、保健主事と養護教諭が協働できる体制を整えるためには、どのような役割分担や進め方をすればよいのか。
- 通達や答申で示されている学校保健安全委員会の定義が十分理解できておらず、これまで経験をもとに内容や回数を決めて開催してきた。岐阜県では、どのような会（参加者、内容、時期や回数など）

の開催を推進しているのか。

山田先生のご講演を聞いてのメモ

(2) 養護教諭からの質問に対する郡三師会の先生よりのご指導

質問したい科	質問内容	質問への回答
内科・ 小児科 の先生 への質 問	低学年と高学年に高度肥満児が おり、どちらの児童も自分の体 重を気にしています。高度肥満 児に対するアプローチ方法を具 体的に教えていただきたいで す。	<西脇 健太郎 先生> 小児肥満症ガイドライン 2017(日本肥満学会編)などの指針 が参考になると思いますが、高度肥満(肥満度 $\geq +50\%$)の 場合、かかりつけ医等への受診を勧め、小児肥満に対する専 門診療を行っている医療機関や小児地域医療センターなどの 高次医療機関へつなぐことが求められます。 体重測定が重要となります、間隔が開くと徐々に量らなく なり、肥満が進行する場合が多いので、毎日測定・記録して もらうことで本人の意識・習慣づけを図ることが大事です。 後日、児童生徒・保護者と一緒に振り返り、少しでも取り組 めていれば本人の頑張りを労い、今後も継続していくよう な指導を加えるとよいでしょう。
	肥満傾向のある児童が多く、中 には高度肥満の児童もいます。 学校での生活習慣改善の指導に ついて、学校でできる効果的な 保健指導の方法について、先生 方のお考えをお聞きしたいで す。	<西脇 健太郎 先生> 片頭痛の誘発因子、増悪因子として以下のようなものがござ います。 精神的因子：ストレス、疲れ、睡眠の過不足 内因性因子：月経周期 環境因子：天候の変化、温度差、におい、音、光 ライフスタイル因子：運動、欠食、性的行動、旅行 食事性因子：空腹、脱水、アルコール、特定の因子(日本神 経学会等「頭痛の診療ガイドライン 2021」CQ II-1-6)

	<p>これらの因子を避けることが一つの対策となると思います。但し、集団で一般的とされる片頭痛の誘引が必ずしも各個人の頭痛発作の誘因となっているわけではないため、個別に原因等を把握せねばなりません。そもそも片頭痛の診断がきちんとなされていないケースも案外多く、未精査の場合、一度医療機関への紹介を勧めるのもよいでしょう。主治医がいる場合、頭痛日記等を記録していることもあるため、記録を参考に誘因を探ることも予防策として重要でしょう。</p>
	<p>ひどい擦り傷を負った時は、水で洗ってガーゼを当てますが、傷にくっつかないようにワセリンを塗っても良いですか？他に良い方法があれば教えてください。</p>

西脇先生のご指導を聞いてのメモ

	<p>体育のマット運動で、前転・後転・三点倒立などをしていますが、授業後に首の痛みを訴える生徒が多くいます。そのような場合の対応方法や病院受診する目安があれば教えていただきたいです。</p> <p>マット運動を行うと首の捻挫が多くみられます。首の捻挫は、時間の経過とともに悪化することもあり、最初の見立てが難しいです。基本的には保護者へ連絡することにしていますが、すぐに病院を受診したほうが良いなどの判断をする基準を教えていただきたいです。</p>	<p>これらの因子を避けることが一つの対策となると思います。但し、集団で一般的とされる片頭痛の誘引が必ずしも各個人の頭痛発作の誘因となっているわけではないため、個別に原因等を把握せねばなりません。そもそも片頭痛の診断がきちんとなされていないケースも案外多く、未精査の場合、一度医療機関への紹介を勧めるのもよいでしょう。主治医がいる場合、頭痛日記等を記録していることもあるため、記録を参考に誘因を探ることも予防策として重要でしょう。</p> <p>西脇 健太郎 先生</p> <p>ガーゼは必然的に挫創にくっつく構造となっており、対策としてワセリンの塗布は、有効です。その他、ハイドロコロイド等の被覆材を使用しても良いかと思います。最近は比較的安価なハイドロコロイド(瑞光メディカル ハイドロコロイド包帯等)も販売されているため、選択肢の一つになるかもしれません。</p> <p>西脇先生のご指導を聞いてのメモ</p>
--	--	--

皮膚科の先生への質問	<p>寒冷蕁麻疹が頻繁に出る子がいます。応急処置と受診が必要になるタイミングを教えてください。また、保護者から体質改善をしたいのだが…と相談されました。何か良い方法はありますか？</p>	<p>＜河瀬 晴彦 先生＞</p> <p>寒冷蕁麻疹について</p> <p>通常の寒冷蕁麻疹であれば、蕁麻疹の部位だけでなく、なるべく全身をゆっくり暖めてあげてください。できる限り、搔いたり、こすったり、叩いたりしないようにして下さい。あまり急激に温めると、かえって悪化することもあるので、徐々に温めてください。</p> <p>薬は、基本的に、抗ヒスタミン薬の内服となりますので、頻度が多いようであれば、病院で内服薬をもらってください。一定程度の予防効果は期待できると思います。</p> <p>緊急での受診は、蕁麻疹によるかゆみ以外に、呼吸困難やのどのかゆみ、腹痛や嘔吐、ふらつき、胸痛などの症状を伴う場合で、蕁麻疹にこれらの症状が伴った場合、アナフィラキシーの恐れもありますので、緊急での対応が必要です。</p> <p>体質改善の有効な方法は、見つかっていませんが、エビデンスレベルの低い報告として、寒冷刺激を何回も与えると、寒冷蕁麻疹が起こりにくくなるといった報告はあります。(必ずしも推奨するものではありません。研究レベルです)</p> <p>基本は、体を冷やさないこと、急激な温度差にならないよう、衣服や手袋などで調節することになると思います。</p>
------------	---	--

河瀬先生のご指導を聞いてのメモ

眼科の先生への質問	<p>目の打撲について 受診の目安と確認するとよいことを教えていただきたいです。</p>	<p>＜松原 正幸 先生＞ (文書での回答)</p> <p>眼球に強い衝撃が加わると、眼表面の角結膜損傷、虹彩炎、前房出血、硝子体出血、網膜剥離、黄斑円孔などが生じることがあり、視力低下、痛みなどの症状がみられます。このような明らかな症状があれば、眼球が損傷している可能性が高いため、速やかに受診することをおすすめします。</p> <p>眼球は、眼窩という骨に囲まれた窪みに位置しています。眼球に外力が加わると眼窩内部の圧が上昇して、骨が薄い眼窩下方の壁が骨折することがあります。これを眼窩底骨折といい、骨折した部分に外眼筋や眼周囲の組織が嵌頓すると、眼球運動障害が起こります。複視や眼球陥凹が見られた場合は、眼窩底骨折が疑われるため、速やかに受診する必要があります。</p> <p>稀に、眉毛外側部付近の打撲により視神経が損傷して急激な視力低下が起こる外傷性神経症が生じることがあります。眼球を直接打撲していないにもかかわらず視力低下が生じたときは、外傷性視神経症の可能性があるため、早急な眼科受診が必要です。この場合、患眼の対光反射（瞳孔反応）の減弱が必発です。</p> <p>打撲後に、視力低下や強い痛み、複視がなければ緊急性は低いので、すぐに保護者に迎えを依頼したり、早退して受診</p>
-----------	--	--

	する必要はないと考えられます。数時間あるいは翌日まで様子をみても大丈夫です。眼瞼や周囲皮膚の発赤や腫れが多少みられても、視力低下など視機能低下がなければそのまま経過観察でよいことがほとんどです。ただし、眼圧上昇や周辺部網膜の損傷が生じても自覚症状は乏しいため、眼球に強い衝撃が加わった場合は、なるべく受診するようにしてください。
--	--

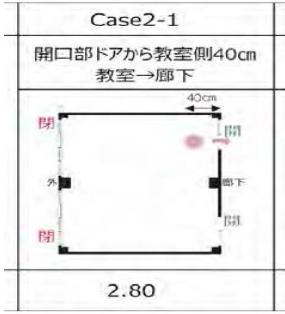
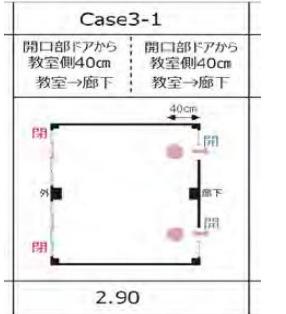
松原先生のご指導についてのメモ

歯科医 の先生 への質 問	小学校高学年の児童数名から、「学校で歯磨き粉を使用したい」、「なぜ歯磨き粉の使用が禁止されているのか」という声が挙がっている。これに対して、専門的な観点から歯磨き粉が禁止されている理由について、具体的に教えていただきたいです。歯磨き粉を使用している学校がありましたら、その理由についても教えていただきたいです。	<羽田 和彦 先生> 歯磨き粉は虫歯予防になるフッ化物が含まれており、使用することは有益である。ただ、養護教諭の先生に確認したところ自分の席で磨いているということで歯磨き後のうがいがしにくいなどの管理の問題のようなので可能であればむしろ使ってもらったほうが良い。
	児童の委員会活動で健康のための取組が分からぬいため、効果的な組織活動になるようはどうすれば良いかお聞きしたいです。	<羽田 和彦 先生> 委員会活動における歯・口の健康作りのねらいは、子供の自発的、自動的な実践活動を通して健康を保持増進する態度や能力を育てることにある。そのためには子供同士で話し合い、解決を図るための活動を企画、運営をすることが挙げられる。例えば洗口場の利用の仕方や、歯磨きの励行、むし歯、歯肉炎の予防のための啓発などである。 「生きる力」を育む学校での歯・口の健康づくり

羽田先生のご指導を聞いてのメモ

薬剤師 の先生	熱中症指数が高い日の下校前や運動会総練習の前などに、カバヤ食品株式会社の塩分チャージ	<金森 豊 先生> 熱中症対策として「塩分チャージタブレット」などの配付を行う場合、明確な医学的・教育的基準があるわけではないと
------------	--	---

<p>への質問</p>	<p>タブレットを児童に配付しています。しかし、同じ日であっても、配付している学校としない学校があり、同じ町内でも配付基準がバラバラであるというのが現状です。そのため、配付の目安があればぜひ教えていただきたいです。また、郡や町内で配付基準を統一した方がよいかどうかもお聞きしたいです。学校環境衛生検査で、教室の空気の検査や、騒音検査などの効果的な検査方法・タイミングを教えてください。</p>	<p>理解しています。環境省「熱中症予防情報サイト」やスポーツ庁「学校の運動における熱中症対策ガイドライン」を総合的に判断することが推奨されていると考えています。まずは、各学校での配布の目安の共有をして、その後に統一することもありかと思われます。</p> <p>例</p> <p>① 環境条件（熱中症指数：WBGT）</p> <p>WBGT 28°C以上（警戒?嚴重警戒）：配付を検討</p> <p>WBGT 31°C以上（危険）：屋外活動を中止または大幅短縮。やむを得ず行う場合は必ず配付し、休憩・水分補給を強化。</p> <p>② 活動内容と配付の目安</p> <p>軽い運動（体操・軽い行進など）</p> <p>WBGT が 28°C以上で配付検討</p> <p>激しい運動（リレー、ダンス練習など）</p> <p>WBGT が 25°C以上で配付推奨</p> <p>下校（徒歩通学など）</p> <p>WBGT が 28°C以上、または帰宅時間帯が真夏日である場合に配付推奨 また徒歩時間にも考慮が必要</p> <p>③ 児童の状況</p> <p>特に以下のような場合は積極的に配付を検討：</p> <p>低学年児童（自分で水分・塩分管理が難しい）</p> <p>持病（心疾患、てんかん、脱水傾向など）のある児童</p> <p>長時間屋外活動（運動会総練習、遠足など）</p> <p>検査の方法、タイミング</p> <p>2025 年度 学校環境衛生活動調査システム（https://gifu-essurvey2025.org/）の中に、モデル計画、マニュアルを参考にしていただきたい。</p>																														
	<p>環境衛生 エアコンと扇風機・サーチュレーターの設置位置について 図で教えていただきたい。エアコンと天井設置の扇風機を使用している。扇風機を首振り機能で空気を循環させて方がよいのか、一方向に風を送った方がよいですか。</p>	<p>学校における換気の実施に係る参考資料</p> <p>https://www.cas.go.jp/seisaku/ful/taisakusuisin/bunkakai/dai19/gijisidai_3.pdf</p> <p></p> <p>・窓・扉が全閉の教室（Case1-1）ではほとんど換気は行われていないが、扉を開放するだけでも約2.0回/hの換気が得られる（Case1-2）。</p> <p>・対角線上に窓と扉を1か所ずつ10cm開けたCase1-3の方が、扉を全開放したCase1-2よりも換気効果が高く、さらに開口箇所をもう1か所ずつ多くすることで約3.0回/hの換気が得られるようになる（Case1-4）。</p> <table border="1" data-bbox="770 1493 1278 1718"> <thead> <tr> <th>窓・ドアの開閉状況</th> <th>Case1-1</th> <th>Case1-2</th> <th>Case1-3</th> <th>Case1-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>窓・ドアともに全閉</td> <td>閉</td> <td>閉</td> <td>閉</td> <td>閉</td> </tr> <tr> <td></td> <td>閉</td> <td>開</td> <td>開</td> <td>開</td> </tr> <tr> <td></td> <td>閉</td> <td>閉</td> <td>閉</td> <td>閉</td> </tr> <tr> <td></td> <td>閉</td> <td>閉</td> <td>閉</td> <td>閉</td> </tr> <tr> <td>換気回数[回/h]</td> <td>0.34</td> <td>1.82</td> <td>2.25</td> <td>2.97</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料提供：東京理科大学 倉渕隆教授</p> <p>・上窓を開放する方が、開放面積が小さいため冷暖房効率が良いと考えられる。また、庇があるため雨が降っても開放でき、冬でも児童に直接冷たい外気が当たらないことから、上窓の開放が望ましいと考えられる。</p> <p>資料提供：横浜薬科大学 田口真穂准教授</p> <p>◇サーチュレーターの使用について</p> <p>サーチュレーターを使用することで、空気の流れを作り、教室内の換気を補助することができます。なお、サーチュレーターによる換気効果は限定的であり、窓開けによる換気を基本とし、雨天時やエアコンの使用などで窓が開けられない場合や少ししか開けられない場合に補助的に使用します。</p>	窓・ドアの開閉状況	Case1-1	Case1-2	Case1-3	Case1-4	窓・ドアともに全閉	閉	閉	閉	閉		閉	開	開	開		閉	閉	閉	閉		閉	閉	閉	閉	換気回数[回/h]	0.34	1.82	2.25	2.97
窓・ドアの開閉状況	Case1-1	Case1-2	Case1-3	Case1-4																												
窓・ドアともに全閉	閉	閉	閉	閉																												
	閉	開	開	開																												
	閉	閉	閉	閉																												
	閉	閉	閉	閉																												
換気回数[回/h]	0.34	1.82	2.25	2.97																												

		
<p>児童の委員会活動で健康のための取組が分からぬいため、効果的な組織活動になるようにはどうすれば良いかお聞きしたいです。</p>		<p>委員会活動は "自分たちで考え、決め、動かす" 小さな自治活動です。だからこそ、まず 目的(何のための委員会?)を子ども自身がつかめるようにし、その後に具体的な行動を考えしていく流れがとても効果的と考えます。最近の一般的なサポートして、 例</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康」とは何か、範囲を可視化 生活リズム(睡眠・朝食・メディア時間) 安全・けが予防 熱中症対策 手洗い・咳エチケット ②健康課題を見つける作業 マスクを外した後の手洗いができない 夏の水分補給が偏っている 朝ご飯を食べてこない子が多いなど ③目標を"行動"で設定 "数字や観察できる変化"を入れる "期限"をつける "誰が何をするか"を明確にする ④"成功体験"をつくる 朝の放送で"水筒チェック"を呼びかけ → 翌週に達成度を掲示 「手洗いスタンプラリー」など参加型イベント メッセージカードや表彰で成果を見る化 先生がサポートしながら、児童が主体的に取り組める内容ですすめることが大切です。 すでに揖斐郡学校環境衛生活動審査にて実地審査時多くの学校が対応されていることを実感しています。
金森先生のご指導を聞いてのメモ		

※「揖斐郡学校保健会ホームページ」に「R7郡三師会と養護教諭との交流会で学んだこと、大切にしていきたいと思ったこと及び感想を記入するアンケートフォームを設けますので、養護教諭の先生方は交流会終了後アンケートフォームより回答し、送信してください。

※後日、郡三師会と養護教諭との交流会の様子及び寄せられた感想をもとに学校保健会よりを各校及びご指導いただきました三師会の先生方に送付させていただきます。

養護教諭の先生方へ

この様式で揖斐郡学校保健会のホームページに「郡三師会と養護教諭との交流会」のアンケートフォームを三師会と養護教諭会との交流会後にまでに設けますので、当日交流会ノート等にメモした内容や交流会を通してもった感想や意見をアンケートフォームに記入し、送信してください。

提出〆切 2月24日(月)

令和7年度 郡三師会と養護教諭との交流会 アンケート

() 学校 養護教諭氏名 ()

- (1) 西濃教育事務所教育支援課の山田 雄一朗先生の「学校保健安全員会の運営の仕方や三師会・関係機関の連携について」についての講演の感想や学んだこと、これから生かしていきたいと思ったことを書いてください。

（1）の回答用紙

- (2) 養護教諭部会からの質問にご回答いただいた三師会の先生方のご指導（ご回答）から学んだこと、これから生かしていきたいと思ったこと及び感想を書いてください。

（2）の回答用紙

- (3) その他（会のもち方や日々の実践の中で感じていること）があったら書いてください。

（3）の回答用紙

※ご指導いただきました講師の先生、郡三師会の先生方、各校の養護教諭の先生方へは、後日アンケートをまとめた「郡学校保健会だより～令和7年度郡三師会と養護教諭との交流会特集号～」（デジタル版）を後日メールにてお届け致します。

